

若者の自動車離れとレジャー活動の関連性について

スポーツマーケティングゼミナール 1315041 長 幹連

1. 研究動機・研究目的

現在日本では若者の自動車離れが進んでいると言われており、実際に耳にすることも増えてきている。

クルママガジン「イキクル」(2015)の調査により、東京都在住 20~30 代の運転免許を保有している独身男性は 3 割弱しか自動車を保有していないことが明らかになっている。全国の全年代において運転免許保有者の中で実際に自動車を保有している人は全体の 73.1% という数値が出ており、3 割弱という数字が低いということが分かる。

一方で、レジャー白書 (2016) によると「ドライブ」というレジャー活動の人気は 2014 年の 4 位から 2015 年には 3 位に順位が上がっており、自動車離れが進んでいると言われていた中でも、「ドライブ」を余暇活動として楽しんでいる人々が多いことが報告されている。

レジャー活動を通じて自動車をより多く利用する機会が増え、自動車を購入する若者が増えることにつながれば、経済効果や自動車を通じたレジャー活動の発展も見込めるため、双方での経済発展の効果が期待できると考える。

そこで本研究では、若者の自動車利用状況や自動車保有に対する意識とレジャー活動の参加状況やレジャー活動への参加意欲との関連を明らかにすることを目的としている。

2. 研究方法

質問紙調査に協力が得られた自動車学校において、空き時間を過ごしていた生徒一人一人に直接質問紙を配布し、その場で回収した。有効回答数は 39 であった。

調査項目は、個人的属性、自動車利用状況及び利用への意識、自動車保有状況及び保有への意識、レジャー志向性尺度を用いたレジャー志向性を網羅した。

分析は IBM 社の統計解析ソフト SPSS を使用し、すべての質問項目において単純集計を行いサンプル全体の傾向を把握した。

レジャー志向性尺度については、因子分析を行い、因子分析の結果得られた因子得点を用いてクラスター分析を行った。

その後クラスター分析によって類型化されたグループごとに個人的属性や自動車利用や保有に関する質問項目とのクロス集計を行い、レジャー志向性の違いと自動車利用や保有に関する考え方を比較した。

3. 主な結果と考察

本調査のサンプルの個人的属性は、満 17 歳から満 33 歳の若者と呼ばれる世代であった。因子分析で抽出された因子得点をもとにクラスター分析を行ったところ、休日をアクティ

ブに過ごすサンプルと休日を休息の時間に充てるサンプルの2つのグループに分けることができた。

その結果、休日をアクティブに過ごすことを好む傾向があるサンプルは自動車の運転や利用目的に関してポジティブな意見を持っていることが確認できた。その一方で休日を休息の時間に充てることを優先する傾向があるサンプルは自動車の利用に関して消極的な考えを持っていることが推察された。

4. 結論

今回の研究はレジャー志向性の違いによって自動車の利用や自動車の保有に何らかの違いや特徴を見るというものであった。その結果、休日をアクティブに過ごすことを好む人と、休日は休息の時間に充てる人とは自動車の利用に対する考え方に差がみられた。今後自動車離れを食い止めるには、アクティブに誰かと過ごす時間を自動車を使って楽しんでいる人はもちろん、休日は休息の時間にあて自動車を単なる移動手段と考えている人にも自動車の中で過ごす時間を楽しいと思ってもらえるような空間が必要ではないだろうか。自動車での移動の時間を楽しいと思ってもらうことが今後を担う若者の自動車の利用を左右するのである。移動の時間を楽しいと思う機会が増えれば、自動車を利用してドライブに行ったりキャンプや海水浴、スキーなどのレジャー活動に出かけたりする機会も増えるのではないだろうか。

5. 卒業論文の執筆を終えて

卒業論文の執筆を経て、統計分析ソフトの使用方法や論文に適した言葉遣いを学べた。それに加えて、各自動車学校に調査依頼をするときに失礼のないような対応をとることを初めて実践できた。4月から社会人になるにあたり、取引先の方とのやり取りで失礼があってはならない。それに先立ち今回の卒業論文の調査依頼を自ら経験できたことは今後の生活のための大きな学びであった。

主な引用・参考文献

公益財団法人日本生産性本部(2016)：レジャー白書 2016

クルママガジン「イキクル」(2015)：2015年10月2日 若者の車離れは本当か

<https://ikikuru.com/column/young-mens-car-now/>

佐橋由美(2010)：レジャー志向性尺度の開発：成人女性サンプルによる尺度の有効性の検討と旅行行動への応用

ソニー損保(2015)：2015年 新成人のカーライフ意識調査